

ビル・ハリー氏インタビュー 「広島で公演できることを光栄に思います。」

1. 初来日と伺っておりますが、どんなことを期待されていますか？

いくつかの理由があり、大変楽しみにしています。まず、東洋へ今まで行ったことがないので異なる文化に触れることができるのをとても楽しみにしています。日本文化の歴史を真髄まで知り、体感できるのではと期待しています。ずっと日本美術に興味がありました。特に広重の作品や木版画に関心があります。また、能や歌舞伎にも興味があり、少しでも経験できたらと思っています。物語を語り継ぐ、伝統的な紙芝居という物があると聞きました。絵を次々にめくっていき話を進めていくというのがどのように行われるのかにも興味をそそられます。

それから、特に教師の方々との意見交換を大変楽しみにしています。どのようにして言葉を伝えるかということについて一緒に考えてみたいと思っています。話し家として、皆さんがどのようにして言葉、物語、歌を学び、それをどのように日常生活で活かしているのか常に関心をよせてきました。日本語は私たちが使う言葉とは大きく違っているのでその解釈や学習の過程に大変興味があります。

義理の父が仕事で何度も日本を訪れています。また、妻も多くの日本人と関わりを持ちながら成長してきたので、彼女も初訪日を心待ちにしています。日本に友人もいるので訪日中に会えればと思っています。

2. 今回は11月9日に広島のチャリティーイベントに参加されるそうですが、広島で開催されることをどう思われますか？

心待ちにしています。何年にもわたり1970年代は仕事を通じて米国での平和活動に積極的に参加してきました。アメリカン フレンズ (クエーカーズ) サービス コミットィのスタッフだったので、軍備縮小を働きかけたり、被爆者の方が核戦争についてや平和の必要性についての講演にいらした際には同行させていただきました。広島で公演ができることを光栄に思います。

3. アメリカの他にどの国で公演をされましたか？

ほとんどがアメリカです。もちろんカナダでも公演を行ったこともあります。去年は数週間ニュージーランドで学校を訪問してまわり、フェスティバルにも参加させてもらいました。海外でも行っておりますが、英語圏以外での公演は初めてです。

4. 概算で結構なのですが、今までにおおよそ何人ぐらいの子供たちが公演に来られましたか？

全く見当もつきません。おそらく2500を超える学校を訪問させてもらったと思います。それにはコンサート等の何千回もこなしてきた公演は含んでいませんので、何百万人にもなると思います。通常3世代の方が公演に来られます。私と同世代の親を持つ子供たち、そして子供たちと一緒にくる親、おじいちゃん、おばあちゃん世代です。

5. 多くの子供たちを見てきて、これは世界共通だなと思うことが何かありましたか？

我々の生活は変わりました。しかし、感情は万国共通です。だから子供たちは、大人にとっては何が起こるか分からない不安と期待、時には自分の力が及ばない恐ろしい経験、大人にとっては面食らうようなことを企てるのです。初めて体験することは常に驚嘆させられます。エンターテイメントの世界で幼少時代を再現するような題材が多用されるように、多くの作品が初めて経験したことについてなのです。

6. あなたの歌や語りのどういった所が子供たちの心に強く響くのでしょうか？

私の歌や語りはごく最近の経験を少し外したものにしています。そして恐れの部分を取り除いた所へ、つまり足を踏み入れても安全な箇所へ入りこんでいくのです。そして歌や語りの組み立てによって枠組みが成り立ち、言葉に意味を持たせはじめるのです。自分たちの人生を順序立て、歌や語りを通して自分が何者であるのかを想像するのです。そうすると現実や実際目にするもの以上に歌や語りが聞き手の心に届いていくのです。歌や語りは自分たちの経験と固く結びついていくと私は信じています。

7. あなたの演奏を聴いて、何を子供たちに感じ取ってもらい、何を持ち帰ってもらいたいと思いますか？

子供たちの貴重な生命や彼らの経験に敬意を表すのが私の仕事だと常々感じています。そして、私たちは多くの共通の感情を持っているということをお子たち（そして大人の方）に気づいて欲しいのです。ユーモアを交えつつ伝えるようにしているので、すぐには表に出ないとしても、苦痛に耐える力や人を思いやる感情というのが私の作品の根底にあります。公演中私はコミュニティーを築くようにしています。たとえそれが束の間の、いつかのものであるとしても。